

労働基準広報 2015 No.1875

12/21

CONTENTS

年末特別企画 今年の労災裁判を振り返る ————— 6

精神疾患・アスベスト関連の訴訟が多い パワハラ事件が増えているのも特徴

今年の労災裁判は、例年どおり、精神疾患、アスベスト関連が多いのが特徴であるが、いわゆる過労死関係は減少傾向が見られる。精神疾患の関係でのパワハラ事件が増えているのも特徴といえる。そのため、昨年は、パワハラが原因で精神疾患・自殺に及んでいたものを「精神疾患（自殺を含む）」に分類していたが、今回はパワハラを原因とするものを「パワハラ」と分類して紹介している。パワハラと言われる事例には、その行為が違法か否かは常に悩ましいものが多いが、裁判になった事例の多くは、パワハラか否かの検討を要するような微妙な事例は少なく、明らかに違法性が認められる事例が殆どであり、違法な行為があったものとして損害賠償請求が認められている。

(弁護士・外井浩志 (外井(TOI)法律事務所))

●レポート/「特別な休暇制度」無料セミナー 〈東京〉が開催! ————— 23

時間生産性を高め効率よく働く ワークライフバランスの実現も重要に

11月6日に開催された「特別な休暇制度」無料セミナーで中央大学大学院戦略経営研究科の佐藤博樹教授は、法定外休暇は“目的のある休暇”であり、その利用目的を考えながら導入することが重要であること、WLBを実現できる職場とするための働き方改革が重要であること——などについて語った。

(編集部)

●裁判例から学ぶ予防法務 〈第15回〉 ————— 26

医療法人雄心会事件
(札幌高裁 平成25年11月21日判決)

新人臨床検査技師のうつ病・自殺と安全配慮義務
長時間労働等の実態認識可能な状況
なら使用者の予見可能性認められる

(弁護士・井澤慎次)

●NEWS ————— 1

(厚労省・「一億総活躍」社会の実現に向け基本政策)第1子出産前後の継続就業率60%目指す/ (厚労省・学生バイトの意識等調査)事前に労働条件の「具体的説明なかった」が2割/ (厚労省・27年度輝くテレワーク賞)初年度は「優秀賞」2社、「特別奨励賞」8社など/ほか

●労務資料/平成27年 就労条件総合調査 結果② ————— 42

年休取得率2年ぶりに低下し47.6%
～労働時間制度～

(厚生労働省調べ)

●連載 労働スクランブル[®] (労働評論家・飯田康夫) — 40 ●わたしの監督雑感 沖縄・名護労働基準監督署長 平良喜作 — 54 ●今月の資料室 — 56 ●平成27年 総目次 — 57

労務相談室

回答者

労働基準法 [フレックス・裁量労働制ある事業場] 半日年休を導入したいが — 48 弁護士・新弘江

募集・採用 [若者雇用促進法の情報提供義務] どのような義務課されるか — 50 弁護士・岡村光男

安全衛生 [午後10時少し過ぎる時間外労働] 6か月24回以上で健診必要か — 52 弁護士・小川和晃